

感染管理認定看護師

～感染管理認定看護師の役割～

感染管理認定看護師は、患者さん・職員のみならず院内に関わる全ての人を医療関連感染から守ることを使命として支援を行っています。

院内感染・伝播を未然に防止するため、職員教育の徹底、他職種と連携を図り院内全体の状況を把握し速やかに対応することを心がけています。

また地域の医療機関との連携、介護施設等への感染対策指導、研修会を実施し地域医療支援に貢献しています。

《主な活動内容》

- ◇ 医療関連感染サーベイランス
血流感染や手術における感染など医療関連感染の発生状況、耐性菌などの検出菌状況の調査、部署の感染防止対策の評価と介入
- ◇ 院内外での感染管理に関する教育活動
職員教育、地域の医療機関職員研修会、市民公開講座の実施
- ◇ 院内外の感染管理に関する相談対応
- ◇ 職業感染防止対策：ワクチン接種、針刺し・血液曝露防止対策、結核曝露対策など
- ◇ ファシリティマネジメント：機材の洗浄・消毒・滅菌、環境対策、院内ラウンドによる環境チェック
- ◇ アウトブレイク対策 など

当院の感染管理認定看護師は専従配置のほか、外来・入院部署に配置され、職員への教育強化、感染防止対策の徹底に努めています。

市川ゆかり（2008年取得） 宮崎寛康（2013年取得） 橋爪美樹（2018年取得）